

つくばR8地域活性化プラン コンペティション2020

採択プラン

地域ぐるみ活動創生コース 採択プラン

＜コース内容＞

地域の特性を活かし、地域ぐるみの新たな活動でR8の地域価値の向上や地域課題の解決に繋げることを目指している方を対象としたコースです。地域資源の効果的な活用を図りながら、地域に根付いた活動として定着するために、持続的かつ自立的な地域振興への貢献を求めます。

＜賞金総額＞

300万円

＜採択件数＞

3件（100万円×3件）

＜1次審査通過件数＞

6件

コロナ災禍克服熱狂「町民芝居と和提灯祭」

－手作り不滅の町おこしムーブメント－

わわわやたべや町民会議

対象市街地

谷田部

withコロナにおいて地域を勇気付けるために、江戸時代後期に谷田部で発生したとされる熱病に対し、当時活躍した地元の発明家・飯塚伊賀七をはじめ谷田部の住民が、どのように向き合ったのかをテーマとする演劇公演等を行う。（状況によってはオンライン公演とする）

- ・「生きる伊賀七」公演
- ・わわわ健康パーティー（外出自粛による運動不足解消を目的とした健康教室）
- ・伊賀七にんげんまつり（和提灯600個を町内に飾るイベント） など

Bond Job（ボンジョブ）

明治大学 木寺ゼミナール

対象市街地

上郷

子どもの職場体験をきっかけとした多世代間の持続的な交流を上郷地域全体を巻き込んで行う。

＜具体的な取組＞

①「上郷職場体験！」

地元産業が職場体験を提供し、地元の小学生が参加する。「教える・教わるの関係を構築」

②「上郷マルシェ！」

金村別雷神社で定期開催されているマルシェに職場体験を行った店舗と小学生が協働し出店する。

③「上郷フォトアート！」

職場体験やマルシェなど住民の日常生活の写真を集め、フォトアートやPR動画に活用する。

ふるさと菜園事業-つくばにあなたのふるさとを-

国際耕種株式会社

対象市街地

栄もしくは谷田部

中心市街地やTX沿線地区の居住者、外国人など「ふるさと」を離れて暮らしている方が、周辺市街地に「日常的に」訪れる機会をつくることを目的に、栄もしくは谷田部の農家のもとで栽培・収穫体験ができる仕組みをつくる。

提案者が協力農家と収穫体験の参加者のマッチングを行うとともに、これまで海外で農業支援を行ってきた経験を活かし、外国人参加者の通訳や栽培に役立つ講座などを行う。

コロナ禍克服熱狂 「町民芝居と和提灯」

—手作り不滅の町おこしムーブメント—

町芝居 伊賀七座第6回公演 2020 12.5 SAT 伊賀七座劇



江戸時代 寛政元年 1789年 谷田部 恐ろしい熱病
次々と倒れる人びと 恐怖のパンデミックを
青年名主 天才からくり伊賀七は どう乗り切るか

谷田部の新拠点よりあいや 伊賀七庵を 盛り上げる！

共助 笑い 健康



伊賀七 10歳

わわわ健康パーティー

中高年の方の健康管理講座を開催 何より健康！

音楽舞台ライブLP鑑賞会

ジュリー、野口五郎、矢沢永吉、アベ静江等数十曲リクエスト

伊賀七からくり人形登場か？

新たな伊賀七BRAND登場か？

ステップアップします！
破竹の進撃の2019年から更に

こんなときだからこそ 手作りの



600個の和提灯を
谷田部の夜空に！



伊賀七と同時代を生きる わわやたべや みなさん とともに 進みましょう

ボンジョブ

BOND-JOB

職場体験(JOB)・イベント・写真を通し、 地域を繋ぐ(BOND)プラン

なぜ上郷？

世代ごとにコミュニティが
完結してしまっている

↓
上郷の豊富な地域資源を
活用し、他世代と関わる機
会を創出したい！

ターゲット

- ①小中学生
- ②大人



↓
お互いのニーズに合った
プランを提供

JOB

地元産業と小中学生
がマッチングし
職場体験を通して交流を創出！



農業



製造業



商店



- ・「教える⇔教わる」の関係を構築
- ・小中学生が上郷の魅力を再発見

MARCHE

マルシェに地元産業が出店し、
小中学生が
新たな体験を楽しむ！



いかづちマルシェ



販売体験



フォトフレーム作り



- ・新たな交流拠点の創出
- ・職場体験先と小中学生の再交流

PHOTO ART

職場体験やマルシェでの
写真を集め、
フォトアートやPR動画に活用！



フォトギャラリー



フォトモザイクアート



PR動画



- ・交流を可視化する
- ・上郷への愛着を育む
- ・共創体験で一体感を生む

木寺ゼミナールの強み

- ・JT_B観光まちづくりコンテスト茨城ステージ
地域に根ざした政策提案で、最優秀賞を受賞！
実現化に向けて活動中！
- ・「かみいけ！星空プロジェクト」：
豊島区上池袋にて住民参加型アートを実施し、
地元住民の新たな交流を創出！

実施体制

明治大学木寺ゼミナール
×
上郷市街地活性化協議会様
×
いかづちマルシェ主催者様

プラン後の上郷

"職業体験が気軽に来れる街"上郷
"多世代が融合した一体感のある街"上郷

ふるさと菜園事業 —つくばにあなたのふるさとを—

事業背景① 栄地区・谷田部地区のワーストと現状

- 栄地区・谷田部地区は美しい田園風景が印象的。自然も豊かで「ふるさと」を思わせる雰囲気がある。
- 両地域は新興住宅地から近いの利点である反面、近いがゆえに、わざわざ訪問しようとする非日常性(お出かけ気分)が得られない。
➡ 時間をかけて、付き合っところわかる良さがある



事業背景② つくばの新住民の現状

- 外国人を含む、つくば市内の新住民の方々は「ふるさと」をはなれて暮らしている。
- つくばが好きだけど、なかなか地域と関わるきっかけがない。
- 環境や食への関心が高く、市民農園、農産物オーナー制度、直売所が人気。

事業案「ふるさと菜園」

新住民の方々と地元の農家さんが一緒に家庭菜園に取り組むことによって、日常的に家族で地域を訪れるきっかけを作る。地域にじっくりと関わり、好きになってもらい、「ふるさと」と思ってもらえるサービスを提供する。

「ふるさと菜園」の仕組み

想定する参加者

「野菜栽培はやってみたいけど、自分で管理する自信はない。でも収穫イベントじゃ物足りない」、「栽培や農家さんとの交流を通じて、子供に食と自然、伝統の大切さを伝えたい」、「つくばが好きで地域に関わりたいが、きっかけがない」



こんなところが魅力

農家さんと一緒なので、技術的に安心。月1~数回、農家さんと一緒に作業することで、野菜栽培と農家さんとの交流が楽しめる。新鮮な季節の野菜が手に入る。管理会社が実施する農業・地域理解イベントに参加できる。

参加者のご負担

契約料、生産資材実費、交通費、イベント実費

想定する協力農家さん



「自分のウチ用に野菜を栽培しているけど、つい作りすぎちゃうんだよね」、「自慢の野菜、もっといろいろな人に喜んで食べてもらいたい」、「教えてあげるの大好き」、「たまに若いヒトが来るとにぎやかでいいね」

こんなところが魅力

今までやっていた自家用の野菜畑から収入が得られる。作った野菜を喜んでもらえる。お客様とのマッチングや契約、お楽しみイベントは管理会社がやってくれるのでラクチン。

農家さんのご負担

菜園の場の提供、菜園の管理、月1~数回のお客様との協働、農具の貸し出し

管理会社(国際耕種)の役割

お客様とのマッチングと調整役、農業・地域理解イベントの実施、参加料の回収と支払いを担います。参加者と農家さんがスムーズに取り組めるよう、細やかなサポートを提供します。

「ふるさと菜園」の特徴

- 地域の農家さんと一緒に取り組む家庭菜園です。
- 参加者は年間10組程度に限定し、細やかなサポートが行き届くように配慮します。
- つくば市に多い外国人家族も積極的に取り入れ、地域の異文化交流を進め、新たな地域文化をはぐくむきっかけを創造します。



プランの地域適応性

当案は、栄・谷田部地区の美しく豊かな田園都市風景と新興住宅街から近いという地域特性を生かした事業である。

プランの地域貢献性

当案は、新住民が日常的に当該地域を訪れることで、地域に新たな交流が生まれることに寄与する。地域に親しみを持つ家族が毎年増えていくことは、地道ながらも、地域の地力につながり、市街地の活性に寄与する。

プランの実現性

つくば市民は環境や食への関心が高く、家庭菜園には一定の需要があることが見込まれる。農家さんとのマッチングやイベントなどは、国際耕種のつくば在住の社員と地元協力者が協働委員会を設立し、運営にあたる。

プランの持続性

参加費の一部を運営資金とすることで、持続的な活動につなげる。活動が軌道に乗ったのちは、住民有志と国際耕種とでNPOを設立し、地元密着した運営を続ける。

稼げる地域づくり創生コース 採択プラン

<コース内容>

提案者の専門性を活かした事業プランにより、新たな地域ビジネスの展開や地場産業との連携により地域の稼ぐ力を生み出すことを目指している方を対象としたコースです。事業を展開する中で地域との連携を図り、地域への経済的波及効果が期待されること、本コンペの実証期間終了後も自身で事業資金を生み出し持続的かつ自立的な地域振興への貢献を求めます。

<賞金総額>

400万円

<採択件数>

2件 (200万円×2件)

<1次審査通過件数>

4件 (想定)

地域に開かれたゴルフ場活用プロジェクト

対象地域

筑波国際カントリークラブ

全市街地

「筑波山を一望する絶景」と「広大な芝生」をゴルファーだけでなく、地元住民に開放し、活用できるようにするプロジェクト。

① イベントスペースの提供

クラブハウス&レストランの一部を地域の活動団体のイベント等に開放する。

② 地産地消と生産物の発信

コースの一面で、地元農家、ワイナリー等による縁日を開催し、ゴルファーに地域をPRする。

③ 芝生の散歩スペースの提供

コロナウイルスの外出自粛が行われた場合に営業時間終了後の芝生スペース一部を散歩用に開放する。

④ ワイナリー支援

地域の新設ワイナリーのためにセラースペース提供する。(ワイン特区を活かす試み)

古民家再生プログラム「工芸×IoT」で最先端の地域活性化

対象地域

iriai tempo

北条

北条に残る築100年以上の日本家屋をリノベーションし、地域の物産品や生活工芸品を取り扱う店舗「iriai tempo」をつくる。

店舗内には、地域のコミュニティスペースやコワーキングスペースを併設することで、多様な人々が立ち寄り、地域の情報や物産品を知り、購入でき、若者移住を促進するため働く場所の提供にも繋がるなど、地域の魅力が詰まったコミュニティ拠点となることを目指す。

運営にあたっては、つくばのコア技術力を「伝統の工芸文化」と「最先端科学技術」と捉え、工芸品や物産品をIoT技術(キャッシュレス決済など)で販売管理していく。

地域に開かれたゴルフ場活用プロジェクト

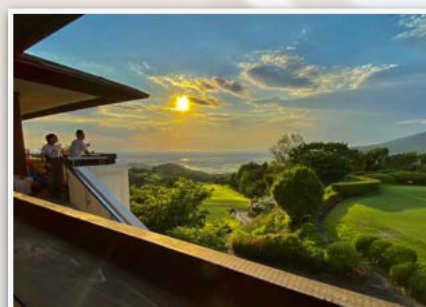
「筑波山を一望する絶景」と「広大な芝生」をゴルファー以外に開放し
筑波の魅力を全ての人が堪能できるようにします

1

イベントスペース提供

風景価値の最大化

つくば市が誇る絶景を地元の人、一般観光客が広く堪能することができる機会をつくりだす。営業終了後の芝生を解放し能やジャズイベントを開催できる場所として地域の活動団体に貸し出します。



2

旬の食材フェスタの実施

地産地消と生産物の発信

地元の個人農家さんやワイナリーなどを招待し、縁日のような屋台形式で自慢の農産物やワインなどを提供することができる機会を提供しサポートします。



3

芝生の散歩スペース提供

コロナストレスの緩和

コロナウィルス感染拡大を目的とした外出自粛が年内に改めて行われた場合自粛ストレスによる健康被害に少しでも貢献するために、営業終了後の芝生の一部を地域住民に散歩用に貸し出します。



4

倉庫のセラー化

ワイナリー支援

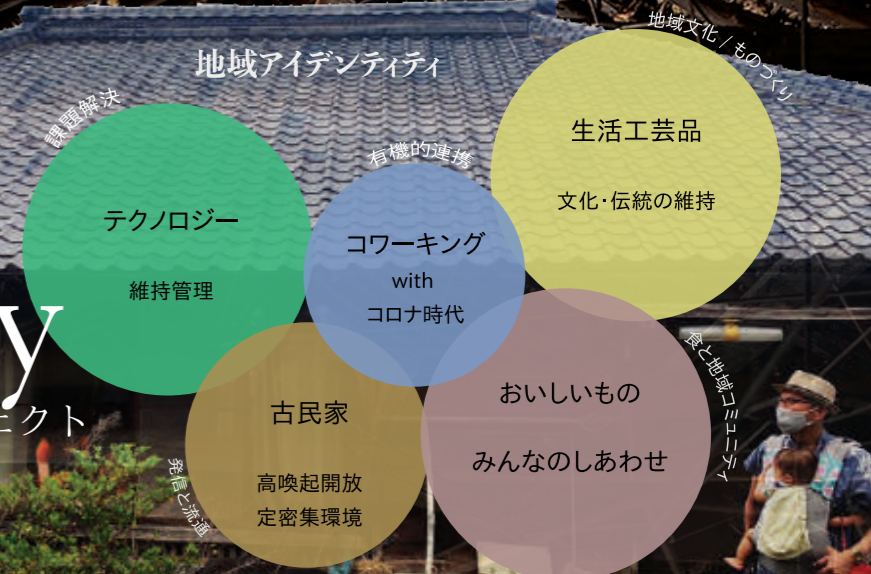
貯蔵スペース確保に課題があるワイナリーのために空き倉庫をセラーとして改築し提供。また売店スペースを活用し、地元のワインの販売することでつくば市がワイン特区であることの認知拡大に貢献します。



北条の空き家古民家「吉沢邸」

100 YEARS Sustainable Community

築100年以上の想いをのせて、工芸品や物産品をIoT技術で販売管理する店舗をつくるプロジェクト



運営メンバー

Who?

北条街づくり振興会青年部会（みんなの登校日）の活動に関わるメンバーが個人出資し2020年7月現在、運営のための合同会社を設立手続き中。つくばに拠点を置くメンバー其々の専門性（工芸、IT、建築、接客、写真、大学生）を活かした店舗を運営し、地域への周知や広報、山麓エリアの街づくり団体との連携を強めていく

北条の課題

北条は人口の増えるつくば市内でも、人口が減り続け2004～2019年の15年で20%近く人口が減り少子高齢化が急速に進んでいる。2019年度に北条街づくり振興会青年部会が行った地域アンケートによると廃校・空き家問題、移住者が増える、高齢者が集まれる場所、こどもの遊び場、交流できる場がほしい、若い人に増えてほしいといった声が多い。家族以外と交流できる場や機会が減り地域コミュニティが弱くなっている



課題解決に向けて

地域の「内」の人が地産地消を、「外」の人が地域と出会い知るため、地域の物産品と情報を提供できるよう、空き家となった古民家「吉沢邸」を補修し店舗を作る。店舗内に地域交流拠点を作ることで、地域の人に必要なたまり場を提供。地域の内の人同士の交流、外の人との交流、外の人同士の交流の場としてコミュニティスペースとして機能させる。また若者移住を促進するため働く場所としておしゃれな古民家コワーキングスペースを提供できるよう空間を創り上げる

and Who? 利用する人

- 地域住民
- 高齢者
- 働く人
- サイクリスト
- 大学生
- 地域生産者
- 観光客
- 子育て世代の親

つくばのコア技術力その① 「伝統の工芸文化」

北条は筑波山麓の生産物の集積地だった歴史から、受け継がれてきた自然と農村文化その生活を支える工芸文化があり、現在も竹工芸や藍染、はんでんなどを作る若手作家が活躍している。建築物として価値ある古民家「吉沢邸」に、地域で支え合ってきた物産品や工芸品の店舗があることで、地元住民が徒歩で通いコミュニケーション、サイクリストが立ち寄り山麓を知ることができる場となり、新たな需要と価値を創出する

工芸 × IoT

つくばのコア技術力その② 「最先端科学技術」

with コロナ時代のキーワードともなる、高い換気性能を持った解放的な空間が特徴の日本の木造建築と、自然豊かなつくば山麓の低密度環境を持ち合わせた「吉沢邸」。ここにIoTシステムを導入し、防犯/防災上の安全性と高い生産性を両立。販売システムは勉強会を行いながらキャッシュレス決済の利用を定着させ、利用者用Wi-Fiを完備しセルフドロップインでスペースを使用できる仕組みを充実させる事で、管理労力を極限まで削減する

地域コミュニティ 形成・強化

新しいアイデア 商品開発

職住近接 移住者の増加

新しい交流 地域認知の拡大

店舗をつくる

古民家再生のワークショップを開催

お掃除と減築
文献・古物の仕分け
内装DIY伝統の土壁補修

筑波大学生

地域住民への周知

参加型で理解を深めていく